

## 国宝高松塚古墳壁画及び国宝キトラ古墳壁画の保存活用に関する 令和5年度の検討事項

高松塚古墳壁画及びキトラ古墳壁画の保存活用に関して、当面の課題について継続的に調査研究等に取り組んでいる。本年度の検討事項と進捗は以下のとおりである。

### 1. 高松塚古墳壁画保存管理公開活用施設（仮称）（新施設）設置について

新施設の基本構想を踏まえ、令和5年度は新施設ワーキンググループを開催し、令和5年度内の基本計画の策定に向けて検討しているところである。

#### <これまでの主な検討事項>

##### ○本施設設置の背景

- ・ 国宝高松塚古墳壁画の価値、当分の間の保存のあり方、  
高松塚古墳壁画・石室石材の保存管理・公開施設の基本的な方針

##### ○理念と目的

##### ○事業活動計画

- ・ 保存・修理・メンテナンス、展示、教育・普及、学芸活動（調査・研究）、人材育成、  
国内外とのネットワーク、情報発信

##### ○施設計画

- ・ 施設整備の基本方針、敷地計画、諸室機能、動線と文化財 IPM ゾーニングの考え方、  
古墳壁画・石室石材保存管理室 [壁画保管区画]

##### ○展示計画

- ・ ガイダンスエリア、展示室、古墳壁画・石室石材保存管理室 [観覧区画]

など

## 2. 高松塚古壁画及びキトラ古墳壁画の保存活用に関する当面の課題と進捗

高松塚古壁画及びキトラ古墳壁画の保存活用に関する当面の課題については第29回検討会で示しているところであるが、令和5年度までの主な進捗を表1、表2にまとめた。得られた成果は、新施設における展示等への活用や壁画の維持管理、保存環境管理指針の策定、高松塚古墳壁画の新施設への壁画移動に必要であり、今後も取り組みを継続していく。

表1 高松塚古墳壁画に関する当面の課題と主な進捗

	課題	主な進捗
壁画 石室石材 漆喰	・ 当面の間の保存環境	・ 適切な保存管理・公開の基準となる保存環境管理指針の提案に向けた検討 ・ 施設内の環境をモニタリングし、保存環境を維持管理した
	・ 壁画材料の分析	・ 壁画色材についての分光分析を実施 ・ 壁面上で安全に情報を得るための分析機器を開発し、顔料についてのX線回折分析を実施 ・ 新施設への文化財の移動検討のための石室石材・漆喰の材料実験、SfM/MVSによるモニタリング手法の検討
	・ 壁画のメンテナンス	・ メンテナンスの継続による保存管理と現状把握 ・ 長期的なメンテナンス手法の検討
	・ 新施設への移動	・ 新施設の整備に合わせて検討
発掘成果 墳丘	・ 発掘成果の整理活用 ・ 墳丘の整備活用	・ 発掘成果や墳丘の情報のデジタルアーカイブ化や、公開時の乾拓体験等を実施 ・ 出土棺金具に関する新知見を基にした再現

表2 キトラ古墳壁画に関する当面の課題と主な進捗

	課題	主な進捗
壁画 保存管理施設	・ 施設内の保存環境	・ 施設内の環境をモニタリングし、保存環境を維持管理した
	・ 別置壁画片の調査、今後のあり方	・ 壁画色材についての分光分析を実施 ・ 泥を除去せずに『辰』、『巳』、『申』の凶像の情報を得るために、高分解能の蛍光X線分析調査を実施 ・ 『辰』、『巳』、『申』の今後のあり方を検討 ・ 『午』の今後のあり方を検討
	・ 壁画のメンテナンス	・ メンテナンスの継続による保存管理と現状把握 ・ 長期的なメンテナンス手法の検討
発掘成果 墳丘	・ 発掘成果の整理活用 ・ 墳丘の整備活用	・ 発掘成果のデジタルアーカイブ化や公開時の乾拓体験等を実施 ・ 整備後の墳丘の経過観察